

## 「アクションプラン2019」および「成果指標（KPI）」の策定について

三井住友DSアセットマネジメント株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：松下隆史）は、フィデューシャリー・デューティー宣言の具体策として「アクションプラン2019」（以下、アクションプラン）とその成果指標（KPI）をこの度策定したことについて、下記のとおりご報告いたします。内容の詳細につきましては、当社ホームページのFD専用ページ（下記URL）をご参照ください。

<https://www.smd-am.co.jp/corporate/vision/fiduciary/>

### 記

#### 1. アクションプラン（全17項目）について

アクションプラン（全17項目）は、4月1日に合併した（旧）三井住友アセットマネジメントと（旧）大和住銀投信投資顧問によるお客さま本位の取組みを踏まえつつ、また、外部有識者によってフィデューシャリー・デューティー全般をチェックする「FDアドバイザリー会議」（従来の「FD第三者委員会」を4月に改称）による提言も取り入れ、資産運用会社として、お客さまの視点から、更に注力すべきと考える取組事項をまとめたものです。金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」（1～7）を踏まえ、「運用」「商品開発」「お客さまサービス」「経営管理」という当社の全業務分野においてお客さまの視点から業務改善に向けた取組みを着実に遂行してまいります。

具体的には、運用業務において両社が培ってきたスチュワードシップ活動・ESG活動を通じた責任投資に更に磨きをかけることをはじめ、海外拠点を含めた両社の運用力を裏付けとするアジア地域の運用力強化、（旧）三井住友アセットマネジメントが取り組んできたビッグデータ分析の運用技術への応用等の各種取組みを幅広く進め、お客さまの最善の利益の追求を目指します。

また、（旧）大和住銀投信投資顧問で取締役会の下で運営してきた「責任投資委員会」を新会社の組織に取り入れ、社外取締役による利益相反管理を含めたガバナンス体制を一層強化します。

加えて、お客さまに対する商品・サービスのご提供においては、先んじて拡充してきたDC、iDeCo、つみたてNISA等の制度に適した資産形成向け商品や高齢化社会に求められる定率取崩し型（※）等のライフステージ対応型商品の提供をさらに充実させるとともに各種手続きのデジタル化を推進し、それぞれのお客さまニーズに合致したサービスの提供やお客さまの利便性に資する手続き等の簡素化等にも取り組んでまいります。

※目標分配率を設定し、目標分配率に応じた分配を行うことを目指す商品

## 2. 成果指標（KPI）について

成果指標（KPI）は、当社がアクションプランを実行した成果を数値等の指標でお示しするものです。運用成績をはじめ、外部評価機関によるファンドアワードの受賞実績、お客さまに末永く愛されるファンドの育成状況を表す長期運用商品の件数、ライフステージ対応型商品の運用残高等の各種指標で具体的な成果をお示します。

当社はアクションプランの策定と実行およびKPIによる検証を通じて、フィデューシャリー・デューティを継続して実践し、お客さまの「Quality of Lifeに貢献する最高の資産運用会社」を目指してまいります。

以上

上記内容の詳細につきましては、当社ホームページのFD専用ページ（下記URL）をご参照ください。

<https://www.smd-am.co.jp/corporate/vision/fiduciary/>

### 【本件に関するお問合せ先】

三井住友DSアセットマネジメント株式会社  
経営企画部 新保 Tel.03-5405-3239  
経営企画部 鈴木 Tel.03-5405-0583

### 【三井住友DSアセットマネジメントについて】

三井住友DSアセットマネジメントは、三井住友アセットマネジメント、大和住銀投信投資顧問が合併し、2019年4月1日に発足した資産運用会社です。国内外の機関投資家から個人投資家に至る多様なお客さまニーズに対して、業界トップレベルの運用調査体制とグローバルなネットワークを活用した質の高い資産運用サービスを提供することを通じ、全てのステークホルダーのQuality of Lifeの向上に貢献してまいります。

三井住友DSアセットマネジメント株式会社  
HP： <https://www.smd-am.co.jp/>  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会、  
一般社団法人日本投資顧問業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会